

# りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる  
障害福祉事業部りとるらいふ  
発行日：2021年4月

今年の桜は例年よりも早く開花し、あんなにいっぱいあった雪が嘘のようにピンク色の花びらへと変わりました🌸🌸気分転換に春を探しに散歩してみるのもいいかもしれませんね😊それでは新年度最初のりとる通信をお届けします!!!



## 令和3年度各部門目標

### 生活介護事業所

#### きら

- ①お一人ひとりの個性を尊重した支援にこだわり、「想い」に沿った支援を追求します。
- ②職員一人ひとり、目標を持って自ら考え、実践し、資質や専門性の向上を目指します。
- ③計画的な運営と円滑な業務遂行を行い、チーム力を高めていきます。

#### とも

- ①ご利用者様とつながる
- ②ご家族様の想いとつながる
- ③社会・地域とつながる



### 放課後等デイサービス

#### にこ

- ①障害特性に応じた支援と活動内容の拡大
- ②他事業所との連携強化
- ③一人ひとりが強みを活かせる体制作り



#### ららん

- ①支援力の安定
- ②余暇の安全性構築
- ③『報告、連絡、相談』の徹底継続



### 短期入所・共同生活援助

#### もーと

- ①開所3年目の新体制チーム作り
- ②業務改善
- ③親支援につながる仕組み作り

#### ぷあん

- ①利用者が落ち着いて快適に過ごせる環境づくりに努めます。
- ②家族が安心して送り出せる事業所づくりを目指します。
- ③職員にとって分かりやすく働きやすい職場環境作りを進めます。



#### ふあみりあ

- ①快適な生活や空間を意識して支援する。  
(利用者支援の向上に向けて、主体的に実践するチーム及び連携体制の整備)
- ②グループホーム生活を通して「生きる」＝「楽しむ」を専門職として考える。  
(「共感的理解」と専門性を備えた人材の育成体制の強化)
- ③緊急時の対応を強化する。  
(安心・安全なサービス提供と持続的な事業運営のための管理体制)

## 事業所報告

最近行った室内での活動の様子を紹介します。  
入浴剤「バスボム」作りを行いました。  
材料を混ぜてカプセルに詰め、ボールのような丸い形になりました♪  
ペットボトルや新聞紙などの身近な材料を集め、手作りの輪投げを作り、輪投げ大会を開きました！  
参加された利用者さんはとてもよろこばれていました。

#### きら

#### とも

年度末お疲れ様会を行いました🍷💕ご利用者の皆様から昼食のリクエストを頂き、最終的に決定したメニューはハンバーガー🍔とパンケーキ🥞☆ともでの1年間の思い出話に花を咲かせながら、「美味しいね！」と笑顔で召し上がられる皆様のお顔を見られてよかったです😊



#### にこ

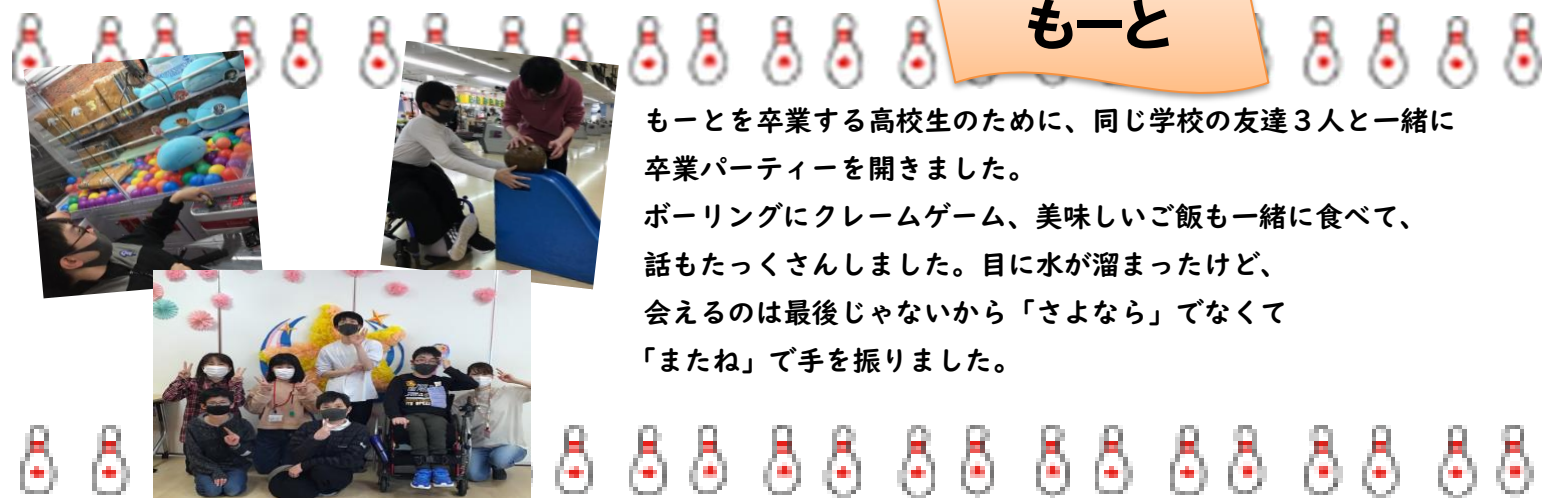
今月は春休み中のイベントとして、昼食にお好み焼きと焼きそば作りを行いました！皆で協力して、キャベツやウィンナーを切ったり、生地を混ぜたりと一人一人が大活躍でした。「お好み焼き上手に返せるかな？」と緊張の面持ちでしたが、友達や職員の「せーの！」の声掛けで大成功！「美味しい！」と笑顔の皆さんでした。

#### ららん

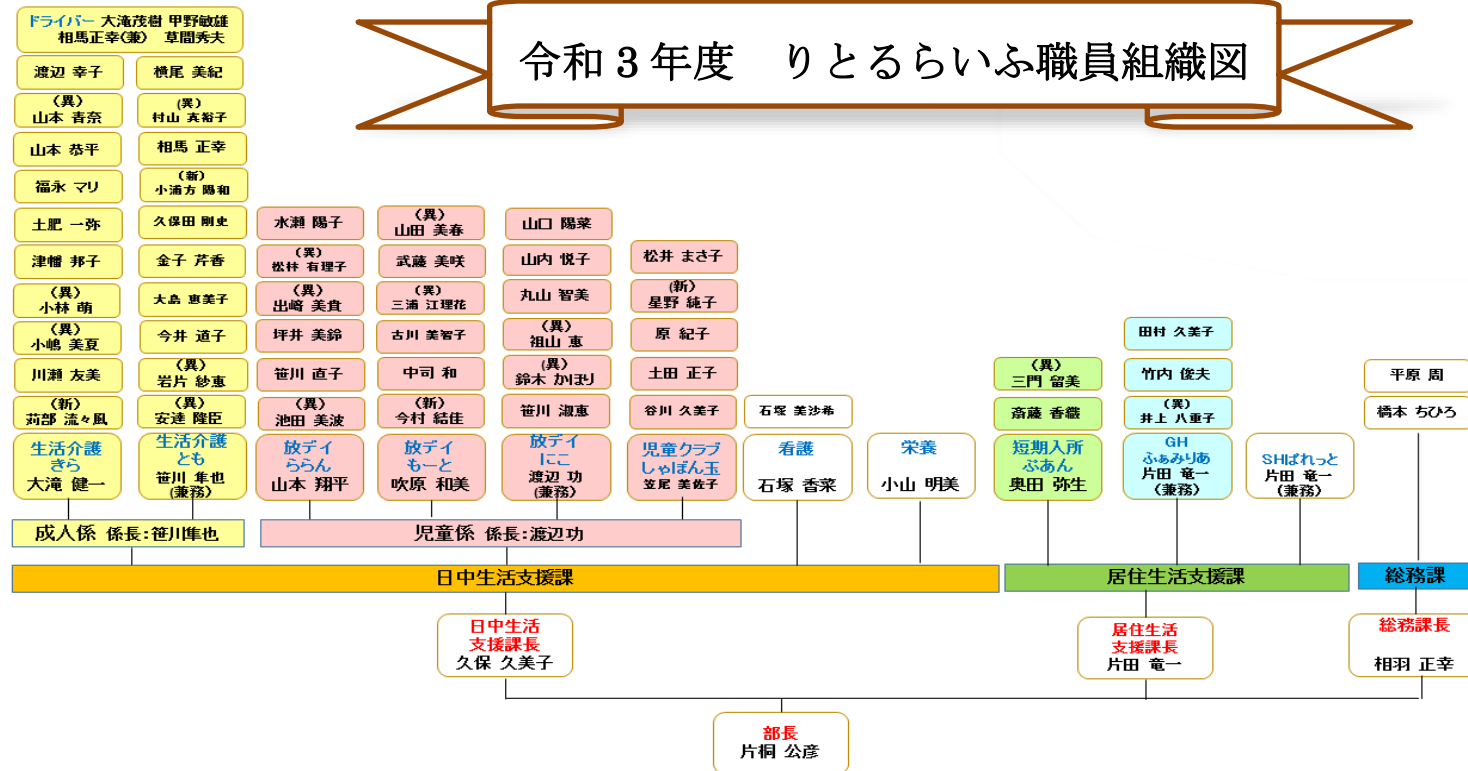
卒業生のために在校生が準備して行った《卒業式&お楽しみ会》の様子です。  
手作りの卒業証書授与式や記念撮影会、ほかにも風船バレーなどのゲームをして楽しみました。  
最後に卒業生から「ららんが楽しかったです。」  
「社会人になりますが、みなさんも頑張ってください。」とみんなにエールを贈っていました。

#### もーと

もーとを卒業する高校生のために、同じ学校の友達3人と一緒に卒業パーティーを開きました。  
ボーリングにクリームゲーム、美味しいご飯も一緒に食べて、話もたくさんしました。目に水が溜まったけど、会えるのは最後じゃないから「さよなら」でなくて「またね」で手を振りました。



# 令和3年度 りとるらいふ職員組織図



## ～以下の通り、職員の人事異動がありましたのでお知らせいたします～

### 異動

小林 萌	放課後等デイサービス	ここ	⇒	生活介護事業所	きら
小嶋 美夏	放課後等デイサービス	ここ	⇒	生活介護事業所	きら
山本 青奈	生活介護事業所	とも	⇒	生活介護事業所	きら
安達 隆臣	放課後等デイサービス	ららん	⇒	生活介護事業所	とも
村山 真裕子	生活介護事業所	きら	⇒	生活介護事業所	とも
岩片 紗恵	生活介護事業所	きら	⇒	生活介護事業所	とも
出崎 美貴	生活介護事業所	とも	⇒	放課後等デイサービス	ららん
松林 有里子	放課後等デイサービス	もーと	⇒	放課後等デイサービス	ららん
池田 美波	生活介護事業所	きら	⇒	放課後等デイサービス	ららん
三浦 江理花	放課後等デイサービス	ららん	⇒	放課後等デイサービス	もーと
山田 美春	放課後等デイサービス	ららん	⇒	放課後等デイサービス	もーと
鈴木 かほり	放課後等デイサービス	もーと	⇒	放課後等デイサービス	ここ
祖山 恵	生活介護事業所	きら	⇒	放課後等デイサービス	ここ
三門 留美	放課後等デイサービス	ららん	⇒	短期入所	ふあん
井上 八重子	放課後等デイサービス	もーと	⇒	共同生活援助	ふぁみりあ



### 退職

りとるらいふ 看護師	阿部 由美子
放課後等デイサービス	ららん 澤井 栄子

## ～本年度は以下の職員を迎え、職員一同皆様に安心してご利用頂けるよう取り組んでまいります～

### 入職

片桐 公彦	⇒	障害福祉事業部	事業部長
荻部 流々風	⇒	生活介護事業所	きら
小浦方 陽和	⇒	生活介護事業所	とも
今村 結佳	⇒	放課後等デイサービス	もーと



## 「雪に思う～地域で暮らすということを支えるとは～」

障害福祉事業部りとるらいふ 日中生活支援課長 久保久美子

今年1月上越市内全域が大変な状況になったあの大雪。りとるらいふの事業所運営もかなり四苦八苦状態でしたが、市民としても雪がこんなにも生活に支障をきたす経験は多くの方が初めてだったのではないのでしょうか。

今年の降雪時を振り返った時、私の頭にはふと過去のことが思い出されました。

それはまだりとるらいふがNPO法人だった頃のこと。

当時私はららんの現場責任者をしていました。大貫地区で一軒家を借りてららんを運営していたわけですが、皆さんご存じの通り、大貫地区は冬場の積雪が多い場所で、その年もとてつもない量の雪が降っていました。今の石橋のような大きな施設ではなく、本当に木造の民家のような一軒家でしたので、駐車場も狭く、ららんに保護者の方が迎えに来た際には大変な思いをする状況でした。そのため業者に依頼して除雪や排雪を頼んでいたのですが、ある日突然お隣のご家族から苦情のお電話をいただきました。

内容は、除雪業者が敷地の奥に押し込んだ雪が隣家敷地の竹林にまで入り、竹がダメになったとのことでした。私は、大変申し訳ないとお詫びに向かい、そこで様々な話をさせていただきました。その時に言われたのが「あなたたちは商売でここにいるだけでしょう。私たちは住んでいるんです。竹林にはリスなどの生き物が来るんです。あなたたちは営業時間だけ都合のいいように来ているけど、私たちは夜も含めここに一生生きていくんです。わかりますか？」という言葉でした。衝撃でした。そしてショックでした。りとるらいふで働き始めて、民家を利用しながら、地域の中で支援することを実践してきたつもりでしたが、その言葉を突き付けられ、私は本当の意味での「地域でいきる」を理解していなかったんだと胸にささりました。人里離れた施設ではなく、地域住民と同じ街中で支援していれば、イコール「地域での支援」をしていると思っていたけれど、そうではなかったのだとはとしました。自分の頭には常に「利用者」があったけれど、そこに向き合うばかりに、その地域に住む人の気持ちや生活に思いを寄せることはなく、自分たち本位だったなど情けなくも思いました。そしてどんなに自分がお金ではない思いをもって仕事していたとしても、一般的にみれば「仕事」であり、「お金のための商売」としてみられるものなのだともしりました。

このことを機に、さらに自分の中の「地域生活支援」への思いが深くなったのは言うまでもなく、今でもその時のお隣の方には本当に感謝しています。きっとあのようなやりとりをしていただけなかったら、私は今ほど「地域でいきる」を支援する真意を理解できていなかったことでしょう。

そして時は過ぎ、今年、十数年来ぶりに大雪の中での施設運営に悩まされました。今年の大雪でも、やはり地域とのやりとりに課題は満載でした。だからこそ、今年も思いました。「こうしたひとつひとつのやりとりできると明日の地域が、明日の支援現場が、明日の私たちや利用者の皆さんの生活がさらによくなるのだ。」と。

## 研修報告

令和3年2月26日に【厚生労働省事業】感染症実地研修として「施設における感染症対策」の研修会がグループホーム「ふぁみりあ」にて行われました。講師には、JA新潟厚生連 上越総合病院 感染管理認定看護師の村田 忍様から新型コロナウイルスの基礎知識、具体的な消毒の仕方等、ゾーニングやガウンテクニックを学ぶことができました。身近に迫る新型コロナウイルスに対し、正しい知識と具体的な対策を学ぶことができた有意義な時間でした。この研修を踏まえ、利用者の皆様が安心して利用できるよう十分な対策を行い日々の支援にあたりたいと思います。



居住生活支援課 片田